

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月19日更新

事務事業名		自動車臨時運行許可事務事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康		所属部	総務部	課長名	岡田 光弘
	施策	2	行政改革の推進		所属課	市民課	担当者名	山本 美代
	施策の柱	7	市民サービスの向上		所属班	市民窓口班	(内線)	1114
予算科目	会計一般	款 2	項 3	目 1	事業連番 11096	根拠法令	道路運送車両法	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
						成果優先度評価結果		: ⑫
						コスト削減優先度評価結果		: ⑥

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	道路運送車両法に基づき、運行できない自動車(新規登録・新規検査・継続検査等)を許可証と許可番号標を貸し出すことにより、特例的に運行できるようにするため、平成18年2月27日合併により合志庁舎及び西合志庁舎で許可事務を行った。 臨時運行許可番号標の取り付け器具を購入した。
【業務の流れ】	①受付②内容審査③許可証、許可番号標の交付④手数料徴収⑤申請書、管理簿等の整理
【主な予算費目】	①需用費(印刷製本費)②需用費(消耗品費)
【意見や要望】	特に意見や要望は寄せられていない。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)	自動車臨時運行許可事務を適正に行った。	29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成27年度に同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)件 ア:臨時運行許可申請件数 イ:	予算の主な増減の理由 自動車臨時運行許可申請書印刷代の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	自動車の臨時運行許可が必要な人	②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位)件 ア:臨時運行許可申請件数 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	自動車の検査等により臨時に道路を運行するため、許可証と許可番号標の交付を受けることができる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位)% ア:臨時運行許可事務を適正に処理した割合 イ:
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
自動車の検査等により臨時に道路を運行するためのものであり、許可証と許可番号標の交付を適正に行うことで、市民サービス向上につながる。		2,007

(2)各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
①活動指標	件	778	713	800	768	800	800	800	800	800
②対象指標	件	778	713	800	768	800	800	800	800	800
③成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	0	0
投資入費量	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	23	23	31	23	35	23		
	繰入金	千円								
	一般財源	千円			4	6	1			
	(A)事業費計	千円	23	23	35	29	36	23	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	3	5	15	11	15	0	0	0
延べ業務時間	時間	90	72	0	572	0	0	0	0	
(B)人件費計	千円	358	267	0	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	381	290	35	29	36	23	0	0	

事務事業名	自動車臨時運行許可事務事業	所属部	総務部	所属課	市民課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 法定事務であり、適切に処理を行うことで目的を達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・事務事業の性質から向上の余地は無い。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・法定事務であり、他の方法等は考えられない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・市民課職員が他の業務と兼務で対応しており、現状での取り組みが最良と考えられる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・市民課職員が他の業務と兼務で対応しているため
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・手数料条例に基づき徴収しているため適正である。・全ての市民に公平・公正な対応を行っている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 法定事務のため移行することはできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

道路運送車両法に基づいて適切に事務を行った。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策